

2013年度「大学院キャリアパス形成支援のためのアンケート」調査集計結果

※アンケート結果の表の見方

①課程

先端総合学術研究科の1～2回生は博士課程前期課程、3回生以上は博士課程後期課程に含める。
法務研究科と経営管理研究科は専門職課程に分類する。

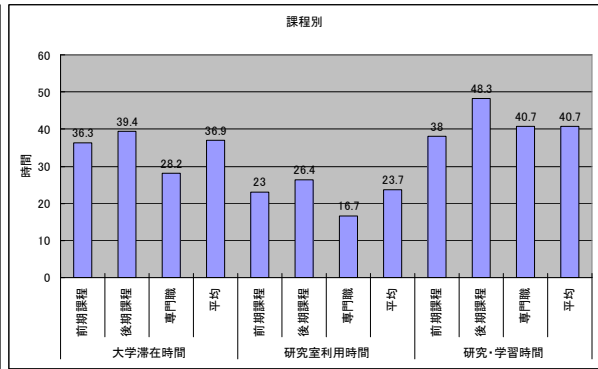
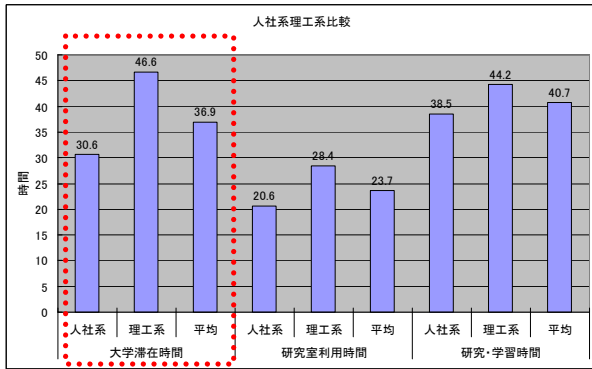
②理工系人文系

理工系は情報理工学、生命、理工で構成され、それ以外の研究科は人文系に含める。

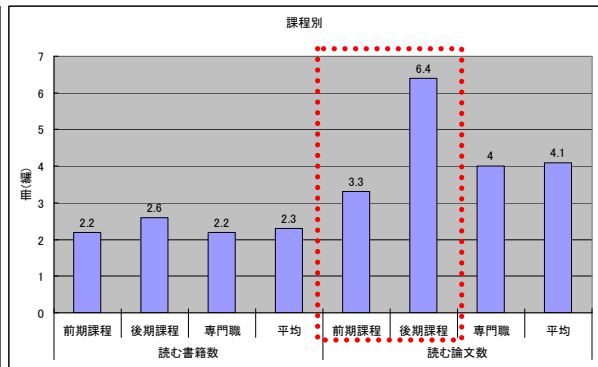
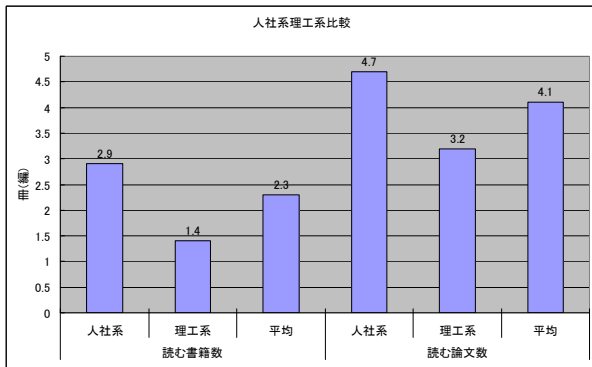
1. あなたの研究活動のモチベーションについて教えてください。

1-1.	1週間のうち講義、研究のために大学に滞在しているおよその時間を教えてください。() 時間				
1-2.	1週間のうち共同研究室又は研究科自習室を利用するおよその時間を教えてください。() 時間				
1-3.	1週間のうち研究・学習に費やすおよその時間を教えてください。() 時間				
1-4.	1週間に読む書籍のおよその数を教えてください。() 冊				
1-5.	1週間に読む論文のおよその数を教えてください。() 編				
回答平均値	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5
平均	36.9 時間	23.7 時間	40.7 時間	2.3 冊	4.1 編
(詳細) 課程・分野別					
博士課程前期課程	36.3	23.0	38.0	2.2	3.3
博士課程後期課程	39.4	26.4	48.3	2.6	6.4
専門職	28.2	16.7	40.7	2.2	4.0
人社系	30.6	20.6	38.5	2.9	4.7
理工系	46.6	28.4	44.2	1.4	3.2
(詳細) 研究科別					
スポーツ健康科学研究科	45.7	31.2	45.0	0.8	3.5
テクノロジー・マネジメント研究科	17.1	12.7	29.8	1.1	5.5
映像研究科	14.6	8.6	25.6	1.6	2.3
応用人間科学研究科	33.7	31.2	43.7	1.5	3.5
経営学研究科	20.7	10.5	35.5	2.2	3.2
経営管理研究科	14.3	9.0	31.0	2.0	0.3
経済学研究科	48.3	35.8	38.5	3.8	7.2
言語教育情報研究科	19.3	12.6	24.6	1.5	3.0
公務研究科	30.0	36.6	31.6	3.3	3.0
国際関係研究科	25.4	18.1	40.4	2.2	6.8
社会学研究科	25.5	18.8	42.7	4.5	3.3
情報理工学研究科	37.8	19.0	35.5	1.5	1.6
政策科学研究科	26.2	17.2	24.0	3.7	5.2
生命科学研究科	55.3	25.5	52.3	1.2	3.0
先端総合学術研究科	22.5	18.0	41.1	3.1	4.5
文学研究科	37.5	15.4	47.5	4.0	5.4
法学研究科	18.8	16.6	33.2	3.8	2.4
法務研究科	70.0	40.0	70.0	3.0	15
理工学研究科	45.1	33.4	43.1	1.5	3.8
研究科平均	36.9	23.7	40.7	2.3	4.1

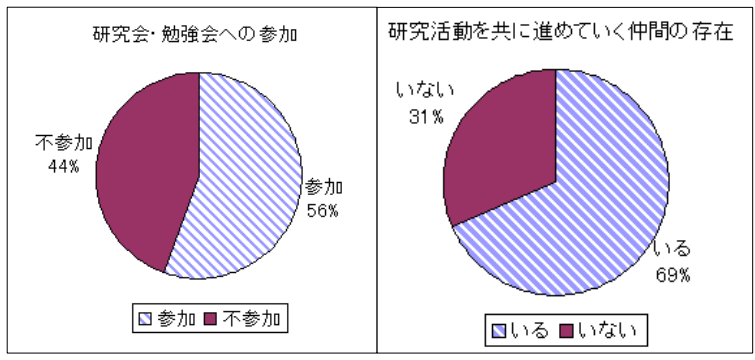
①大学滞在時間(1-1)、研究室利用時間(1-2)、研究・学習時間(1-3)



②読む書籍数(1-4)、読む論文数(1-5)



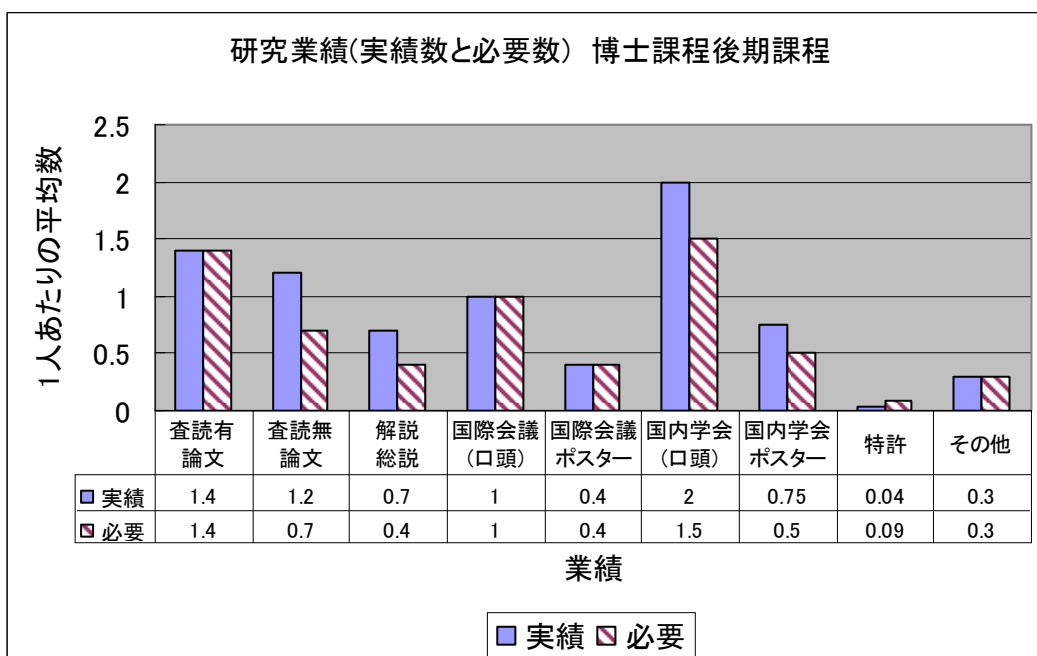
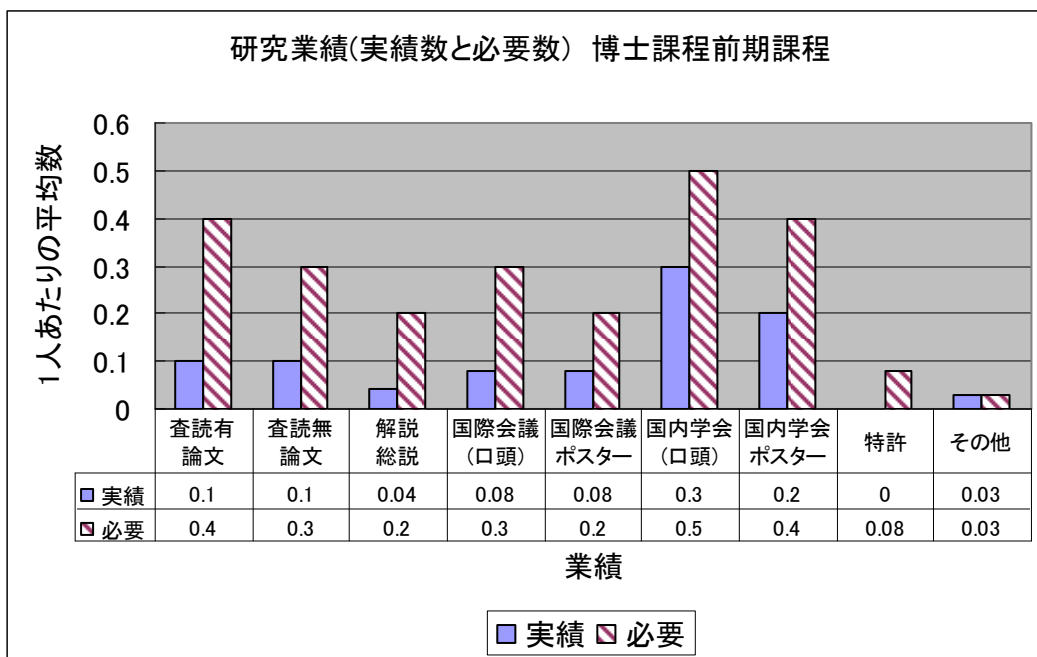
1-6.	現在、定期的に開催される研究会や勉強会(公式または非公式問わず)に参加していますか。参加している場合は、その数を教えてください。参加している場合はいくつの研究会に所属されていますか。			
1-7.	研究活動をともに進めていく仲間(大学・機関問わず)はいますか。いる場合は何名ですか。			
回答値	1-6		1-7	
	参加している (1人あたりの 平均参加研究会数)	参加していない	仲間がいる (1人あたりの 平均人数)	仲間がいない
計	94人(2.2)	75人	116人(8.5人)	53人
割合	55.6%	44.4%	68.6%	31.3%
(詳細)課程・分野別				
博士課程前期課程	59(2.0)	62	84(7.9)	37
博士課程後期課程	33(2.6)	11	30(10.1)	14
専門職	2(1.5)	2	2(8)	2
人社系	57(2.3)	45	59(8.2)	43
理工系	37(2.0)	30	57(8.7)	10
(詳細)研究科別(人)				
スポーツ健康科学研究科	4(1.7)	3	2(2.0)	5
テクノロジー・マネジメント研究科	4(1.7)	3	6(6.6)	1
映像研究科	1(2.0)	2	2(4.0)	1
応用人間科学研究科	4(1.7)	0	3(5.3)	1
経営学研究科	2(3.5)	2	2(2.5)	2
経営管理研究科	1(1.0)	2	2(8.0)	1
経済学研究科	4(2.5)	10	14(9.8)	0
言語教育情報研究科	1(1.0)	5	1(1.0)	5
公務研究科	1(1.0)	2	1(6.0)	2
国際関係研究科	3(2.6)	6	2(8.5)	7
社会学研究科	7(2.1)	1	7(8.4)	1
情報理工学研究科	5(2.0)	8	11(7.6)	2
政策科学研究科	2(2.0)	2	3(2.3)	1
生命科学研究科	10(1.5)	9	15(9.3)	4
先端総合学術研究科	6(3.8)	1	5(4.2)	2
文学研究科	15(2.6)	2	9(16.5)	8
法学研究科	1(2.0)	4	0(0)	5
法務研究科	1(2.0)	0	0(0)	1
理工学研究科	22(2.1)	13	31(8.8)	4
研究科平均	94(2.2)	75	116(8.5)	53



- 1-8. 過去1年間にどのぐらいの業績を出してきましたか(該当する項目がない場合は記入いただく必要はございません)。
 1-9. 1年間にどのぐらいの業績を出す必要があると考えていますか(該当する項目がない場合は記入いただく必要はございません)。

- ①学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書(査読あり)
 ②学術雑誌等(紀要・論文集等も含む)に発表した論文、著書(査読なし)
 ③学術雑誌等又は商業誌における解説、総説
 ④国際会議における発表(口頭発表)
 ⑤国際会議における発表(ポスター発表)
 ⑥国内学会・シンポジウム等における発表(口頭発表)
 ⑦国内学会・シンポジウム等における発表(ポスター発表)
 ⑧特許等
 ⑨その他(受賞歴等)

回答平均値 (1人あたりの平均値)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	査読有 論文	査読無 論文	解説 総説	国際 会議 (口頭)	国際 会議 ポスター	国内 学会 (口頭)	国内 学会 ポスター	特許	その他
1-8 実業績数	0.4	0.4	0.2	0.3	0.1	0.7	0.3	0.01	0.1
1-9 必要業績数	0.7	0.4	0.2	0.4	0.2	0.7	0.4	0.08	0.1
(詳細)1-8 実業績数									
博士課程前期課程	0.1	0.1	0.04	0.08	0.08	0.3	0.2	0	0.03
博士課程後期課程	1.4	1.2	0.7	1.0	0.4	2.0	0.75	0.04	0.3
専門職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人社系	0.4	0.6	0.3	0.2	0.08	0.7	0.2	0.009	0.1
理工系	0.6	0.1	0.01	0.5	0.3	0.8	0.6	0.001	0.1
(詳細)1-9 必要業績数									
博士課程前期課程	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.5	0.4	0.08	0.03
博士課程後期課程	1.4	0.7	0.4	1.0	0.4	1.5	0.5	0.09	0.3
専門職	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人社系	0.7	0.4	0.3	0.4	0.2	0.6	0.2	0.08	0.1
理工系	0.7	0.3	0.1	0.6	0.4	0.9	0.7	0.07	0.1



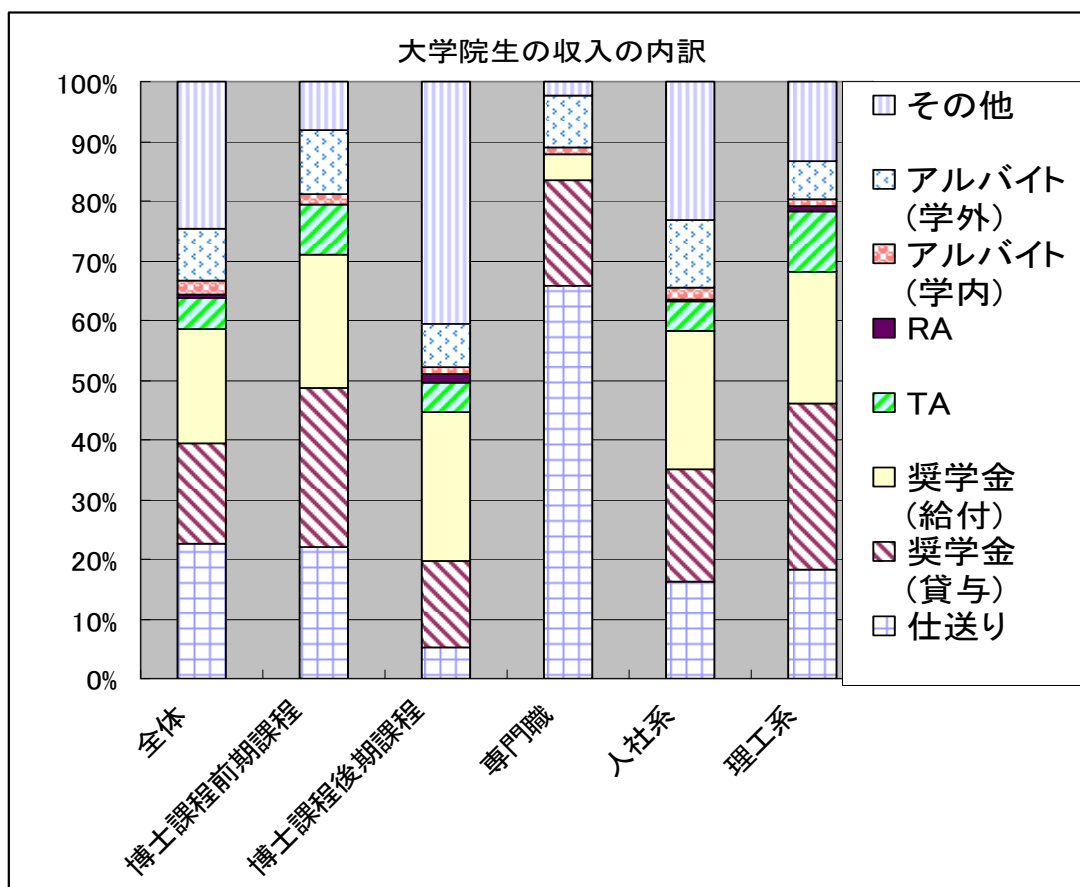
※実績：過去一年間の実研究業績量
 ※必要：学生が必要であるとする1年間の実研究業績量

2. あなたの経済事情について教えてください。

2-1. 1ヶ月のおよその平均収入とその構成について教えてください。

- ①総額
- ②仕送り
- ③奨学金（貸与）
- ④奨学金（給付）
- ⑤TAとしての給与
- ⑥RAとしての給与
- ⑦アルバイト（学内） Rainbow スタッフ・科研費アルバイト等
- ⑧アルバイト（学外）
- ⑨その他（給与等）

回答平均値 (1人あたりの 平均値)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	総額	仕送り	奨学金 (貸与)	奨学金 (給付)	TA	RA	アルバイト (学内)	アルバイト (学外)	その他
	124,920 円	28,343 円	20,807 円	23,914 円	6,583 円	595 円	3,125 円	10,909 円	30,644 円
(詳細)									
博士課程前期課程	111,429	24,665	29,686	24,701	9,303	41	2,194	11,946	8,893
博士課程後期課程	169,855	8,864	24,614	42,182	8,545	2,273	2,227	12,173	68,977
専門職	113,750	75,000	20,000	5,000	0	0	1,250	10,000	2,500
人社系	127,494	20,873	23,843	29,391	6,441	392	2,495	14,540	29,520
理工系	125,479	23,067	34,672	27,866	12,606	970	1,701	8,030	16,567



2-2. 1週間のうち、アルバイトに費やしているおよその時間を教えてください。

回答平均値 (アルバイトをしている人の 1人あたりの平均)	11.6時間
アルバイトをしている 学生比率	49.7% (84名/169名)

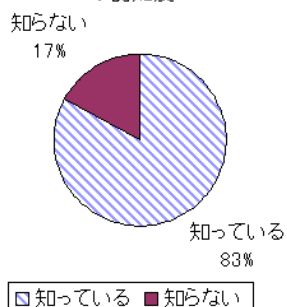
2-3. 現在の経済状況に負担を感じていますか。負担を感じている場合、その状況について詳しく教えてください。

回答比率	感じている	感じていない
	47.3%	52.7%
(詳細)		
博士課程前期課程	47.2%	52.8%
博士課程後期課程	47.8%	52.2%
専門職	50.0%	50.0%
人社系	53.0%	47.0%
理工系	38.9%	61.1%

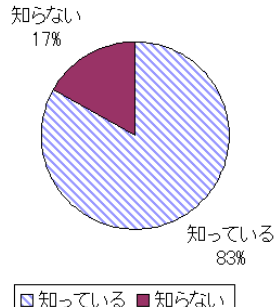
2-4. (博士課程前期課程のみ)大学院生を対象とした奨学金制度を知っていますか。該当するものを選択してください。

制度名	認知		認知度
立命館大学大学院進学奨励奨学金	知らない	制度を知らない	17.0%
	知っている	知っているが申請したことがない	20.5%
		申請したが採用されなかった	5.3%
		採用されたことがある	36.3%
		知っているが応募資格が無い	13.5%
立命館大学大学院育英奨学金	知らない	制度を知らない	17.0%
	知っている	知っているが申請したことがない	19.2%
		申請したが採用されなかった	1.8%
		採用されたことがある	23.4%
		知っているが応募資格が無い	20.5%

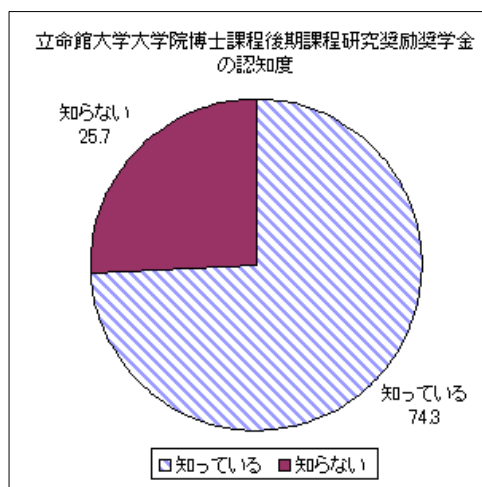
立命館大学大学院進学奨励奨学金の認知度



立命館大学大学院育英奨学金の認知度



2-5. (博士課程前期課程のみ)大学院での学修・研究を支援するための次の各助成制度を知っていますか。該当するものを選択してください。			
制度名	認知		認知度
①海外留学するための助成制度 「留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金」	知らない	制度を知らない	26.3%
	知っている	知っているが利用したことがない	51.5%
		利用したことがある	3.5%
		知っているが応募資格が無い	11.7%
②学会に参加また発表を行うための助成制度「国内学会参加補助制度」「国外学会発表補助制度」「国内学会発表補助制度」	知らない	制度を知らない	12.3%
	知っている	知っているが申請したことがない	46.2%
		申請したが採用されなかった	22.2%
		採用されたことがある	12.3%
③インターンシップなどの研究実践活動に参加するための助成制度 「研究実践活動補助制度」「海外インターンシップ奨学金」	知らない	制度を知らない	36.8%
	知っている	知っているが利用したことがない	43.3%
		利用したことがある	2.3%
		知っているが応募資格が無い	10.5%
④スキルアップのための指定講座受講のための助成制度「ベーススキル向上のための支援制度」	知らない	制度を知らない	41.5%
	知っている	知っているが申請したことがない	38.0%
		申請したが採用されなかった	3.5%
		採用されたことがある	9.9%
⑤自主的な研究会活動を行うための助成制度「研究会活動支援制度」	知らない	制度を知らない	29.2%
	知っている	知っているが利用したことがない	50.3%
		利用したことがある	4.1%
		知っているが応募資格が無い	9.4%
2-6. (博士課程後期課程のみ)大学院生を対象とした奨学金制度を知っていますか。該当するものを選択してください。			
制度名	認知		認知度
立命館大学大学院博士課程後期課程研究奨励奨学金	知らない	制度を知らない	25.7%
	知っている	知っているが申請したことがない	12.3%
		申請したが採用されなかった	3.5%
		採用されたことがある	13.5%
		知っているが応募資格が無い	19.9%



2-7. (博士課程後期課程のみ)大学院での学修・研究を支援するための次の各助成制度を知っていますか。該当するものを選択してください。

制度名	認知		認知度
①海外留学するための助成制度 「留学協定等にもとづく留学プログラムに対する奨学金」	知らない	制度を知らない	37.4%
	知っている	知っているが利用したことがない	17.5%
		利用したことがある	0.6%
		知っているが応募資格が無い	18.7%
②海外における研究活動を行うための助成制度「国際的研究活動促進研究費制度」	知らない	制度を知らない	28.7%
	知っている	知っているが申請したことがない	21.1%
		申請したが採用されなかった	7.0%
		採用されたことがある	17.5%
③学会に参加また発表を行うための助成制度「国外学会発表補助制度」「国内学会発表補助制度」	知らない	制度を知らない	21.6%
	知っている	知っているが利用したことがない	18.7%
		利用したことがある	17.0%
		知っているが応募資格が無い	17.0%
④自主的な研究会活動を行うための助成制度「研究会活動支援制度」	知らない	制度を知らない	29.8%
	知っている	知っているが申請したことがない	24.0%
		申請したが採用されなかった	3.5%
		採用されたことがある	17.0%

2-8. 「研究・教育・専門性の向上」、「キャリア開発力の向上」、「社会課題解決力の向上」を目的としたプレゼンテーション、英語のライティングなどの汎用的スキル、プロジェクトマネジメントや授業設計法などキャリアパス形成に必要な基礎知識や現状に関する理解を深めるためのセミナー（大学院キャリアパス推進室主催）があることを知っていますか。

回答	知っている		知らない
	参加したことがある	参加したことがない	
		23.0%	37.2%
(詳細)			
博士課程前期課程	13.2%	36.3%	50.5%
博士課程後期課程	52.2%	43.1%	4.7%
専門職	0%	0%	100%
人社系	25.4%	40.1%	34.5%
理工系	19.4%	32.8%	47.8%

3. あなたのキャリア観について教えてください。

3-1. 課程修了後に希望する進路を教えてください（複数選択可）						
進路先	課程 (%)			人社理系 (%)		計
	前期	後期	専門	人社	理系	
【就職する】						
民間企業社員（事務・総合職）	28.1	4.5	75.0	26.5	17.9	23.4%
民間企業社員（開発・技術・エンジニア）	39.7	29.5	0	4.9	83.6	35.7%
民間企業社員（法律・経営・会計専門職）	10.7	2.3	25.0	14.7	0	8.8%
教育研究機関研究者（大学、研究所等）	18.2	79.5	0	40.2	23.9	33.3%
小・中・高・専門学校教員	6.6	22.7	0	13.7	6.0	10.5%
法曹（弁護士、裁判官、検察官）	0	0	25.0	1.0	0	0.6%
公務員（上記法曹を除く）	10.7	2.3	0	11.8	3.0	8.2%
国際機関職員	5.8	13.6	25.0	9.8	6.0	8.2%
非営利団体職員	6.6	13.6	0	13.7	0	8.2%
【進学する】						
国内進学	24.8	4.5	0	24.5	10.4	18.7%
海外留学	5.0	13.6	0	9.8	3.0	7.0%
【その他】						
起業する	2.5	11.4	0	6.9	1.5	5.3%
在学中の職業に引き続き就業する	4.1	11.4	0	6.9	4.5	6.4%
在学中の職業より転職する	0.8	2.3	0	2.0	0	1.2%
その他	4.1	0	0	4.9	0	3.5%

3-2. 大学院で修得する知識や能力のなかで、専門分野に限らず幅広く活用できると考えられる以下の知識・能力のうち、自分が身につけたい、向上したいと考える知識・能力を選択してください（複数選択可）。		
知識・能力	選択肢	割合
①リサーチ・スキルとテクニック（問題認識、批判的思考・分析、理論的考察、研究方法の理解・応用等の能力）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	76.0%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	40.4%
	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	18.1%
②研究環境への理解（研究者業界、研究規範、研究資金活用、研究成果発表方法等の理解）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	65.5%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	29.8%
	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	27.5%
③研究マネジメント力・情報収集力（研究の計画と実践、情報の収集・管理・活用の技能）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	67.8%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	38.6%
	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	22.2%
④研究への意欲・独創性・客観性（学習意欲、知識欲、思考の柔軟性、自己研鑽、創造性等）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	69.6%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	36.8%

	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	28.1%
⑤表現力・論述力・コミュニケーション力（目的に応じた文章化、建設的弁護、意見の発信等の能力）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	65.5%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	36.8%
	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	36.3%
⑥ネットワーク構築力とチームワーク力（他者傾聴、意見発信、協力的ネットワーク構築等）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	56.1%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	31.6%
	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	38.0%
⑦キャリア・マネジメント力（自身の能力理解、進路開発に向けた行動、就職活動での効果的発信等の能力）	1. 大学院在学中に身に付けたいまたは向上したいと考えるもの	61.4%
	2. 研究科の授業科目で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	19.9%
	3. 研究科の授業科目以外の活動（自己力向上支援プログラムなど正課外の各種セミナー、エクステンション講座、研究会など）で身に付けることができるまたはできたと考えるもの	45.6%

3-5. 将来の進路について不安を感じていますか。

回答平均値	感じている	感じていない
		54.4%
(詳細)		
博士課程前期課程	47.9%	52.1%
博士課程後期課程	68.1%	31.9%
専門職	75.0%	25.0%
人社系	54.9%	45.1%
理工系	52.2%	47.8%

3-6. 大学院生をはじめとする若手研究者を取り巻く社会状況について知っていますか。以下に挙げるもののうち、知っているものを選択してください(複数選択可)。

社会状況	選択率
日本の大学における一年間の大学教員ポストの新規採用数	21.1%
日本における大学院博士課程修了者の進路・就職状況	39.2%
日本における大学院博士課程進学者数	20.5%
日本の民間企業における大学院修士課程修了者の採用状況	34.5%
産業競争力懇談会等で議論された産業界が大学院修了者に求める能力	8.2%
立命館大学の大学院博士課程後期課程修了者の進路・就職状況	28.7%
他大学大学院におけるキャリアパス支援施策	6.4%

4. 後輩へのアドバイス

5-1.	これから大学院進学を予定している後輩学部生にアドバイスがあればご記入ください
	<ul style="list-style-type: none">・内部進学は外部に比べ比較的楽であると聞いている。大学院に行くのであるならば、学部時代にしっかり勉強をしておけば院の入試は合格できる可能性が広がるので、まずは学部の成績を良くしておくことが重要である。・大学院はあくまでも研究を行う場所であるので、できれば入試の前の段階（5,000字程度）で、しっかりとした研究計画書を作成した方が望ましい。しっかりとした研究計画書を作成しておけば、ゼミもスムーズに進む。（法学、M1）明確な計画をもって進学してほしい。（法学、D2）3回生、4回生時から研究に取り組むスタンスを知る（出来れば、院生との関わりを持てるように）・卒業論文と真剣に向き合う（社会学、M1）博士後期課程に進む気が少しでもあるなら、研究者のキャリアについて知っておいたほうがいいです。（社会学、D2）入学前に、経済的なプランをきちんと立てておくことをお勧めします。卒業後に正規雇用として就職できる保証がないことや、在学中に学費を借った場合は、その返済義務もあるなど、卒業後も経済的な負担が続く可能性があることなども知ったうえで、大学院進学を考えるようにしてください。また、学内外のさまざまな奨学金制度がありますので、それらの制度をきちんとリサーチして役立ててください。（社会学、D3）大学院生博士前期課程と後期課程は全然違うものです。前期課程はまた就職活動をやるとか、旅をするとか余裕な時間があるが、後期課程はほぼ毎日研究と戦います。大変なことですが、毎日新しい発見を楽しみにしています。（国際関係、D4）日本語を話せる人にアドバイスはない。日本語がしゃべれない人は、学生生活をよりよくするためには日本語スキルが必要だ。（国際関係、M1）留学制度を利用してください。（国際関係、M2）自らの足で情報収集を行っておいた方が良くと思います。（国際関係、M3）資金面をしっかりとすること。研究テーマを明確にすること。キャンパス情報・生活条件についてよく調べる。（国際関係、M2）よく考え自分で決断すること。これは遊びではない。立命館は様々な機会を与えてくれる素晴らしい場所だが、それらは覚悟のできている人たちのためのものだ。（国際関係、M1）大学院生の生活というものは、どう学べばいいかを学ぶ長い道のりである。この段階で学生は、課程を達成するために必要な方法論の知識・リサーチスキルなどの基礎を身につけてはいけない。このようなスキルを身につけるには時間と忍耐と自制心が必要だ。（国際関係、D1）安易に来るべきではない。院進学しない友達は多く作っておくべき。（文学、M1）一年目は無為に過ごさず、まず何事も勉強してみれば良いだろう。楽しいと思える瞬間があれば研究はできると思う。（文学、M2）とりあえず、研究をしたいという意欲がないと続けられないので、安易な気持ちでくると困ると思う。その辺はよくよく考えるべき。（文学、D5）研究者を目指すなら国立大学の大学院に行くことをお勧めしますが、ただ進学したいという方にとっては、本学の大学院で日々を過ごすメリットのほうが格段に多いです。学費分の対価はきちんとあります。院生は奇人変人からすごく真面目な人、社会人からモラトリアムの若者まで、バラエティに富んでいます。先生方のサポート体制も充実していますし、職員の皆様も私たちをしっかりと支えてくれますので、精神的にすごく楽です。図書館の書籍は3か月間100冊まで借りることができますし、依頼すれば購入してくれます。院生の多様性とニーズに合わせて、大学院課さんがセミナーをたくさん用意してくれます。私はここが日本一の大学院だと思っています。（文学、D3）大学院では大学と違い主体的に学ぶ意識が重要となるので、学ぶことに積極的になって欲しいと思います。学びを楽しむことができれば有意義な大学院生活を送れるはずです。（文学、M1）勉学だけでなく、事務作業なども多く求められるので、あらゆることに対応する「覚悟」が必要。・なんでもいいで、学外の人との交流を積極的にすることが必要。（文学、M2）立命館大学の先生方は、大変力のある方が多いので、実践するうえで、勉強になると思います。（応用人間、M1）自分が本当に興味を持つものを選んでください。研究することは大変だが、つまづくことを恐れなくてください。（言語、M1）修士課程は経済的に厳しく辛い日々が続きます。博士課程は精神的に厳しい日々が待っています。入院生活、がんばってください。（先端研、D4）「なんとなく」の大学院進学、学生生活をもっと続けたいというモラトリアムの動機では先が厳しいため、ある程度の覚悟を決めたうえで進学するのがベターだと思う。（先端研、D4）社会人入学制について、あらかじめIT力をつけることを告知してください。（先端研、D4）大学院に来ると新しい友達ができにくいので、孤立しがちになる。大学の外に友達を作ったり、それまでの友達や先輩後輩とのつながりを卒業後も繋ぎ止めて情報交換をできていると多少頑張れる。（反面落ち

込むかもしれないけど) (先端研、M1)

- 大学院での研究はまじめにやれば知的好奇心を満足させるだけでなく、将来社会にでてから必ず役に立つ時がくるのが容易に予想できます。それほど意義のある授業内容ですので、目の前の目標だけでなく、将来の意義をも考えて大学院に進学されると研究への思い入れも自然と変わってくると思います。いっしょにがんばりましょう！(経済学、M1)
- 税理財務コースは指導に熱心な教授が多くいます。授業や修士論文の執筆は非常に大変ですが大学院の進学が今後の人生に役に立つと思います。(経済学、M2)
- 教授方から非常に熱心に指導していただけます。また、研究環境が整っているかどうか(データベースの有無や雑誌、図書の所蔵数、研究室の利用環境)を確認してから進学することをおすすめします。(経済学、M2)
- 最初の4か月で進路をきめること。ずっと迷っていると就職にしても進学にしても出遅れる。立命の大学院の環境に慣れてしまうと焦りがなくなるが、得意な環境であると自覚すべき。また、研究室はもちろん、指導教官以外の先生方や学外(研究関係問わず)とのコミュニケーションをとる機会を積極的に創出していくべき。(経済学、M2)
- 立命館大学大学院は、優秀な教授や、意欲のある学生が集まり、多くの実績を残しています。学部時代に学んだことをさらに深めたい、税理士等の資格を目指したと思うのであれば、ぜひ検討してください。(経済学、M1)
- 強い意志と具体的な将来設計プランがある人以外は進学より就職した方がいい。(経済学、M2)
- 立命館大学は、数多くの国の留学生を迎えているので、多様な価値観を持った方々が集まります。よって、英語はもちろんのこと、中国語や韓国語を使う機会もあります。このような刺激のある環境においては、自分の得意分野を活かすいいチャンスだと思います。エクステンションセンターやキャリアオフィスなどを積極的に利用し、自分の得意分野を育てていってください。(経済学、M1)
- 学部生のうちに、研究分野の基礎的知識は身につけておいてください。(経済学、M1)
- 将来自分のやりたいことをはっきりと考えた上で、大学院への進学を検討した方が自分自身にも有利だと思います。(経営学、M1)
- 具体的なプランがない限り勧められない。(スポーツ、M2)
- 就職するためだけに教育を受けているわけではない。全ての人に受ける権利があり、そのためにそれぞれの国に奨学金のシステムがある。学生は両親を喜ばせるためではなく、本人の意思で学ぶべきだ。(MOT、D2)
- 学部では何か興味があるものに対して、先生が教えて下さったり、先輩が教えて下さったりしたと思いますが、大学院では自身で問題を見つけ、それを解決する方法を自身で考え、自身で答えを見つけていかななくてはなりません。そのために、たくさんの知識と情報と経験と諸先輩方のご協力が必要となりますが、それが大学院生に許された時間であり、何か結果を出すために課せられた使命でもあります。学生であれば、世界が学ぶ姿勢を快く受け入れ、学ぶためならと門を開いてくれるものです。色々なことをチャレンジすることが許されている期間ですし、立命館もたくさんのプログラムを提供してくれていますので、自分に関係あるものだけ・・・とこだわらずに(自分で勝手に決めつけずに)、色々に参加してトライしてみたいと思います。(理工学、D4)
- 自分の力を試したかったり、なにが形として残るものを発表/身に着けたければ是非お勧めします。(理工学、D1)
- やりたい事があるなら言い訳せずに全力でやるべき・学内学外、年齢を問わず、様々な人とかかわりを持ち、色々な考え方がある事を知るべき(理工学、D3)
- 外国人留学生の後輩たちに教えてあげたいです。日本での留学生生活を準備するときすべてのことを自分で準備することも重要ですが、もし自分で負担している場合は、奨学金制度や学校からの支援を受けることができる金額はいくらくらいなのかを知らずに挑戦すれば自分に大きな負担となります。準備し、学校から支援を受けることができるプログラムを探してみるのが賢明だと思います。(理工学、M1)
- 今やれることを精一杯すればいいと思います。忙しさにかまけて先送りにしていると、何もできずに時間ばかりが過ぎていってしまいます。(理工学、M1)
- 楽な方へ流されず自分の意思をしっかり持てば、立命館大学大学院で過ごす2年間なりそれ以上の時間はかなり豊かなものになると思います。この大学ほど設備や各種システム、教員が充実している大学は他にないと思う。学部も編入も大学院も別の大学を志望していたが、進んでこの大学で6年を過ごすことに決めました。ぜひ、この大学の大学院に進んで、立命の卒業生として世界で活躍してください。あとは、琵琶湖のほとりに隔離された環境ですが、積極的に学外、圏外へ出て沢山のひとと触れ合ってください。こもりがちな仕事スタイルである技術・研究者ほど、世界の一線で活躍したければ、必要とされてくるスキルだと思います。世界で活躍する学部・研究科の同窓生が1人でも増えることを願っています。(理工学、M2)
- 学部3回生までに、自分のこれからの進路をまとめた方が良い。大学院に進学する際に自分のしたいことに合わせて他大学を受けることが出来る。(理工学、M1)
- 大学院では4回生の時以上に研究に当てる時間が増えると思いますが、学外で発表を行う機会も主体的に研究に取り組みば多く得ることができ、自身の研究成果を多くの人に知ってもらえる機会を得ることができます。取り組んでいる研究や、所属している学部の中でやりたいことや目標を明確に持っているならば、

大学院での研究は非常に面白いものであり、大学院に進学する価値は十分にあると思います。(理工学、M2)

- メリハリをつけて、研究もプライベートも充実させること。(理工学、M2)
- 日本に来るまでにできるだけ語学力を磨いておくこと。(理工学、D3)
- 理由はなんであれ、～のためにこれを頑張ろうと自分で決めて頑張る意識がなければ、どこの大学院や研究室であれ進学は薦めません。僕も修士1回に過ぎませんが、それがなければ卒業までやっていけないだろうと思いますし、誰が払おうとお金と時間の無駄だと思うからです。大学院まで勉学を続けることが出来るのはそれだけで幸せなことだと思うので、進学したい人は大学院での期間が自分のために価値ある時間になるよう頑張ってください。(理工学、M1)
- 大学院に入って後悔することはないはずだ。学業だけでなく、学生生活を満喫するのに最適な場所だ。(理工学、D3)
- 自身で学ぼうとすることが必須。講師やクラスメートに頼ってはいけない。本とインターネットを活用すること。自分の周りにいる人のアドバイスに耳をかたむけること、ただし自分でもきちんと考えること。図書館などの大学内にある施設のありがたさを認識すること。(理工学、D1)
- 研究も勿論重要であるが、自分がやりたい仕事がない人は、やりたいことを探す努力をするべき。海外へ行ってみる、したことがないことをやってみる、など(情報理工学、M1)
- よく考えて、周りとも相談して自分に合った道に進んでください(情報理工学、M1)
- 大学院に進学すると、研究に費やせる時間が、授業のない学部4回生よりも少なくなります。学部生では、3回生まででほぼ全ての単位を取り終えて、4回生で卒業研究に専念することをおすすめします。(情報理工学、M1)
- やりたいことがあれば今のうちにしておいた方がいいと思います。研究をしながら、いろいろなことに挑戦するのはとても難しいのが現状です。(生命、M1)
- 良い研究室を選んで下さい。(生命、D2)
- 必ずやりたいことができる研究室へ行くこと。大学卒業した後でわざわざしたくないことをし続ける意味はない。やりたいことができるなら充実した大学院生活を、やりたくないことをだらだらするならひたすら無駄な時間を、過ごしていくことになる。何が自分に向いていて、何に自分の興味が向いているか、常に考えて確固たる信念を持って貫くことが必要。(生命、M1)
- 何事もそうだが、研究室は就職までにレベルアップしておく場所だと思うので、よく選んで成長できると感じたところに行ってください。(生命、M1)
- とりあえず進学、と考えている方はきっと後悔します。常に目的や目標を持ち、モチベーションに変えられるよう努めるべき。(生命、D1)
- 自分の適性を見極めた上で、進学を決意するとよいと思います。(生命、M2)
- 意欲を持ち、様々なことに興味、関心を抱いて物事を見てほしいと思います。(生命、M2)
- やる気のある人にとって大学院進学は大変魅力的だと思います。視野や考え方も大きく変わってきますので、進路に迷っている人は大学院進学を考えてみてはいかがでしょうか？(生命、M1)
- 院卒は就職活動に有利です。特に、四回生で研究に対する考えが浅はかなままより院に進んでちゃんと自分について考えて将来を見据えるほうがよいと思います。(生命科学、M2)

以上